

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会  
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号  
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837  
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

## 韓国市民と連帯強化

### 韓国近現代史3大聖地への旅

昨年10月30日韓国大法院で出された「徴用工」判決を発端として日韓関係が最悪の状態になっています。今ほどしつかりした歴史認識をもち、日韓市民の連帯・交流が求められるときはありません。

こうした中、大阪平和委員会主催の韓国への平和ツアーが11月19日〜22日実施され、大阪6人と愛知7人計13人が参加しました。この旅は、三菱重工に損害賠償を求めている「名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会」の高橋信共同代表(光州名誉市民)にコースの設定と案内役をしてもらい、韓国の歴史と文化に精通した現地ガイド兼通訳(3人も女性)の詳細な説明も加わり、草の根の交流と充実した学習の機会となりました。

19日午後、済州道で1948年焦土化作戦により3万人が犠牲者となった4・3事件の「済州4・3平和記念館」と済州の3大抗日運動をジオラマで展示している「済州抗日記念館」を見学。

20日午後、光州では「国立5・18墓地」を訪れ、「勤労挺身隊ハルモニと共にする市民の会」の若いスタッフたちの配慮により1980年5月の光州民主化運動で犠牲となった人々に参加者一人ひとりが白菊を献花することができました。そして「歴史資料館」では、多くの写真や資料により自治が始まってから治安維持のために破壊行為を防ぐ努力が市民軍や学生たちによってなされたことを学びました。市民集会が開かれた噴水台、市民軍が立てこもり空挺部隊に攻撃された道庁も見学。自由と民主主義を求める光州の人々の熱い思いに頭をたれるしかありませんでした。

その夜は、「市民の会」の皆さんとの交流会。最初に、上羽事務局長が「大阪平和委員会は、2016年1月韓国の慰安婦「被害者」のハルモニを招いて証言・学習のついで、同年2月には韓国「興士団」の青年14人を招いて交流会をもつなど、日韓の草の根の交流・連帯を重視してきた。今回は、私たちが訪韓し、交流・学習の機会をもつことができてもうれい」とあいさつ。この後、韓国料理を囲みながら自己紹介や得意芸の披露。金正勳(キムジョンフン) 全南科学大学副教授が松田解子の「朝鮮休戦―朝鮮のお母さんたちへ―」を日本語で読み上げたときは、ひときわ大きな拍手が起きました。

21日午前、「金大中記念館」、光州「少女の像」を見学。そのあと、インドネシア、フィリピンなどで日本軍「慰安婦」にされた女性たちの写真を集めた特別展を見学。「死ぬ前にチマチョゴリを着て写真を撮りたい」と言われ

大聖地ツアー  
泰川フォーラム

て撮った写真などが所狭しと展示されていました。

午後、ソウルの日本大使館前の「少女の像」を見学。ボランティアの若い男女に説明をしても

22日午前、ソウルの「植民地歴史博物館」を見学。日本帝国主義による侵略の歴史が明らかにされるとともに、それに抗した人々はもちろんですが、加担した親日派の告発もきちつとなされている展示内容でした。

最後に見学した「国立中央博物館」では、古代の朝鮮の輝かしい文化財に圧倒されるとともに、日本のそれとの類似・共通性に驚かされました。

日韓が友好的な隣国として共存していくためには、市民レベルの交流・連帯が重要であるとともに、日韓両国の近現代史をしっかりと学び、歴史改ざん主義を許さない声を大きくしていくことも大事だと感じた旅でした。なお、この旅で会員が一人増えました。



## 平和フォーラム@春川

12月5〜7日江原道春川(チヨンチョン)で平和フォーラムが開催され、上羽事務局長が大坂代表団約30人の一員として参加しました。

上羽事務局長がこのフォーラムに参加することになったきっかけは、フォーラムの主催者である翰林聖心大学東アジア平和研究所の尹載善(ユン・ジェソン)所長が、日本コリア協会の紹介で直々に大阪平和委員会事務局に來られ、参加要請をされたことでした。千坂純日本平和委員会事務局長も参加しました。

5日は歓迎レセプション。日韓の参加者の紹介のあと歓談しました。ハルモニカ演奏など文化行事とおいしい食事でも楽しい時間を過ごしました。

6日は、同大学で「北東アジアの平和共存」をテーマにフォーラム。

午前中は、プレイベントの後、百歳の金亨錫(キム・ヒョンソク)延世大学名誉教授と秋葉忠利前広島市長が基調講演。

午後の平和円卓討論会(右下写真)では、小森陽一・九条の会事務局長が「北東アジアの平和のために『九条の会』の活動と市民と野党の共闘で安倍改憲をなんとかしても止めたい」と、糸数慶子・前参議院議員は、「安倍政権は県民の声を無視して基地が集中し、基地関連の事故や犯罪で苦しむ沖縄に辺野古新基地を



つくりかたとして」と発言。討論会に続き「北東アジアの平和共存・地政学から地経学」など8つの分科会。

7日は、バスで韓国と北朝鮮が分断されたDMZ(非武装地帯)を訪問し、分断国家(日本にも責任あり)の悲しい現実を目撃しました。

\*フォーラムに同行した仲間と来春大阪で「日韓文化交流会」を企画。乞うご期待!

### 【1月行事予定】

- 5日(日) 勤労協「新春学習会」14:00 中央区民センター
- 6日(月) 原水協6・9行動 12:00 近鉄上本町
- 11日(土) 「日米地位協定署名推進学習会」  
13:00 大阪社会福祉会館 500円  
京都市長選集い・支援 14:00 ラボール京都
- 15日(水) 沖縄連帯行動 正午 近鉄上本町駅前
- 18日(土) 「中国は何をめざしているか?」  
14:00 国労会館大会議室 1000円
- 25日(土) 原水協関西ブロック学校 13:30  
守山駅前コミュニティホール(〜26日)
- 29日(水) 「ノーモア被爆者裁判」14:30 地裁1008号
- 2/1日(土) 日本平和委員会70周年レセプション@東京



# 新年の抱負

新たな高みへ踏み出そう！  
理事長 近藤 正

沖縄で開かれた日本平和大会の前日、消失した首里城の前に立ち唾然としました。開会総会で玉城デニー知事は再建に全力を尽くすと訴えられました。

もはや世界は大国が政治を動かす時代ではありません。

今年戦後七十五年、日本平和委員会七十周年の節目の年です。

また、平和委員会の独自課題である仲間増やしを真剣に取り組み、新たな一歩を踏み出しましょう。

新たな歩みのしるべ北斗星  
正

「ウソだらけ・腐敗政治  
さよなら」の年に

天王寺・代表世話人 大江憲夫

情勢は激しく動いています。安倍政権の底なしの腐敗ぶりは、いまや誰の目にも明らかです。「桜を見る会」、閣僚の相次ぐ辞任、「身の丈」発言などなどに、

野党は国会内外で一丸となって追及、市民も全国津々浦々で、「森友・加計のようにさせない。今度こそ逃げ切らせるな！」と立ち上がっています。

追い詰められ、逃げ回りながらも安倍首相は、改憲に異常な執念、「私の手で必ずなしとげる」

と、違憲発言を繰り返し、税金のみならず、憲法まで私物化しようとしたくらんでいます。

天王寺平和委員会結成(2010年12月)以来継続中の、上六における月2回の定点宣伝行動、①核兵器廃絶・「ヒバクシャ国際署名」、②辺野古新基地阻止・沖縄連帯行動を引き続き取り組むとともに、「草の根」の底力を発揮して、「戦争法」強行以来のわたしたちの合言葉、「安倍政治を許さない！」をさらに高め、「アベ、ウソつき政治さようなら」の2020年にしようではありませんか。がんばりましょう。

## あいば野集會

12月1日午後近江今津「住吉公園」で日米合同演習反対あいばの大集會が300人の参加で開催されました。今回の集會は、12月1日から13日まであいば野演習場で17回目となる日米合同演習が実施されることを許さないために開催されたもの。

大阪平和委員会からは玉置副理事長ら2名が参加するとともに、滋賀県平和委員会に昨年に続き横断幕を寄贈しましたが、さつきそく集會(右下写真)とデモで活用されました。

集會では、植田保二・大阪平和委員会常任理事(大阪安保代表幹事)らが連帯挨拶をしました。

集會の最後に、「日米合同演習は、9条改憲策動と並行して、自衛隊が海外と一体となって戦闘することを想定した訓練を本格



## 沖縄連帯行動

「米国のポチの安倍政権はダメ」と男性が署名

大阪平和委員会は12月16日昼間近鉄上本町駅前で「沖縄連帯行動」を大阪うたごえ協議会、大阪安保も含め10名の参加で実施しました。

この行動で配られた日米地位協定を告発する漫画チラシが好評で、「同協定見直しを求める署名」が45筆、首里城再建カンパが千円集まりました。



## ヤンバル通信

沖縄で映画会をはじめたわけ

ヤンバル統一連名護副代表

豊島晃司

訳あって大阪平和委員会に加盟し、平和新聞も送っていただき、有難うございます。沖縄各種選挙の度に応援をいただいたことも併せて感謝いたします。名護市議選の時、何日も泊まりこらでの選挙応援は本当に嬉しいことでした。物心両面からのご支援本当に有難うございます。

赤旗に掲載された私の映画の記事のことなど記して欲しいとのことでしたので今回初めて原稿を送ります。福山さん、執筆機会を奪いごめんさい！

私は「映画少年」ではなく「芝居」が大好きな高校生でした、今から50年前のことです。(江別市野幌町に住んでいたもので)札幌へ電車に乗りよく観に行きました。宮沢賢治原作の「グスコブドリ」の伝記(東京演劇アンサンブル)に衝撃を受け、独立プロの映画のみを観る偏った少年でした(笑)。教員として、赴任したのが十勝管内池田町の私立高校でした。町の若者たちと「若者たち」「若者は行く」の上映会を企画して上映したのは二年目の夏の頃。数百人の方が来て下さり大盛況でしたが、赤字を出してデビュー戦は手痛い敗北に。地

【今月の言葉】「気候変動への抵抗運動が大きな反響」  
グレタ・トゥンベリやシューテズカート・マルティネズが代表するようになった世界中の子どもたちは、気候変動への抵抗運動が大きな反響を呼ぶのか。  
それは、かれらが「いのち」の価値を「利潤」の価値よりも優先し、欲得の原理に基づく資本主義経済価値を直視し、福祉や教育、健康など、GDP以外の経済価値を重んじる経済体制を標榜し、人権と人間性に基く倫理的再生の道を求める姿勢に、多くの人々が圧倒的な威厳を認識するからだ。  
【岩波「世界」12月号「気候変動 v.s.若者たち」】

域の新婦人の会からの要請を受け「はだしのゲン」上映等をしたのですが、帯広市で映画サークルを立ち上げるの是非代表をとのことで受けたのが私の人生で最大の問題です、1985年のことです。「風の谷のナウシカ」が第1回目の作品でスタートしました。スタッフの打ち合わせ時に「映画を観ていない」自分を見つけ、話についていくため、翌年から年百本を観ると決め帯広のみならず札幌・東京に観に行きました。しかも全て映画館での鑑賞です。独立プロオンリーから幅広い作品を観るようになったことは良いことか否かわかりません。岩波ホールに通い試写状を持ち東京の試写会に通うことが20年以上続く生活の中で、映画の持つちから等を知らず知らずのうちに身に付けたのかもしれません。(次号に続く)